

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	災害見舞金事業			420395	担当課	社会福祉課		
	開始年度	昭和47(1972)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	時井 博信			
	歳出費目	款) 民生費	項) 災害救助費	目) 災害救助費	決算附属資料	144	頁		
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-			
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	福知山市災害見舞金等交付要領			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市において災害により被害を受けた市民に対し、見舞金を支給し必要な援助を講じ、もって市民の福祉及び生活の安定に資することを目的とする。							
	対象者	災害により被害を受けた市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.04			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	自然災害や火災により住居や家族を失くしたり、精神及び身体に重度の障害を受けた被災者の方に福祉及び生活の安定に資するため見舞金を支給する。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項 目		具 体 的 な 内 容			H29経費		
		役務費		郵送料11			11		
扶助費		災害見舞金(火災400、台風18号50、台風21号1490)			1,940				
関連事業									
予算と執行の状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		854	568	558			
		補正予算等・・・②		0	1,400	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		854	1,968	558			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.18/0	0.18/0	0.37./0	/		
概算人件費・・・④		1,440	1,440	2,960					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,294	3,408	3,518				
執行状況	執行額・・・⑥		261	1,951					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		30.6%	99.1%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		制度利用者数	件	5 / 29	90 / 13	/ 12	6		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		制度利用者数	件	5 / 29	90 / 13	/ 12	6		
		単位あたりコスト		52.2	21.7				
			/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・被災時における生活支援として重要な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・他市の見舞金の支給状況等を比較・検討しながら見舞金を支給をする。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・災害により被災した方に対して速やかに見舞金を支給することにより、福祉及び生活の安定に資することができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	災害時における見舞金の支給について、一定の役割を果たしたと考える。	
	今後の課題及び方向性	京都府下及び近隣自治体の状況を精査しながら、より有益な見舞金の支給となるよう検討する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<ul style="list-style-type: none"> ・被災直後の体制については市全体でフォローが必要では ・本事業の目的を、生活再建の一助としており、あくまでお見舞金であるため、金額が小額であっても一定の理解をいただいていると考える。 ・見舞金額の設定は、市町村の設定と比較しながら、本市の災害の頻度を鑑みて、額の見直しも今後必要になってくるかもしれない。例えば、床上浸水の額を細分化する等検討の余地がある。 ・大規模な災害時には、制度利用者が増え、対応数や事務量も増えるので、的確な案内や支給が行えるよう、再度、関連部署との連携や事務処理方法などを確認しておいていただきたい。 ・災害発生時は、社会福祉課のみでなく市全体で被災者支援を行うものであり、あくまで見舞金の支出という面のみでみれば妥当かと感じる(今後も他市比較等は必要。) ・個別の本事業のみでなく、関連する災害ボランティア支援事業等での取組(現金支給以外での支援方法の工夫 など)や消防・危機管理・罹災証明発行部門等と綿密な連携を行い、災害発生時の支援体制を整えてもらいたい。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分		
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域福祉推進事業			440108	担当課	社会福祉課			
	開始年度	平成28(2016)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	大西 健二		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料		112	頁		
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-				
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成29年度に策定した「第3次福知山市地域福祉計画」に基づき、人権尊重を基本に住民相互の理解・補完・協働によって、だれもが安心して暮らせる地域づくりと社会参加を促進するとともに、福祉文化を創造し、ユニバーサル社会の形成を推進する。								
	対象者	全市民		対象者数	78,612		一人当たりコスト	0.09		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 株式会社日本出版								
	事業概要	新しく策定した第3次福知山市地域福祉計画を広く市民に啓発し、地域が互いに支えあえる福祉のまちづくりを「みんなで」取り組めるような仕組み、体制の整備を進める。また、急速な社会状況の変化への柔軟な対応ができるよう、各施策の進行管理及び必要な見直しを講ずる。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		報酬		地域福祉計画策定委員会				684		
報償費		プロポーザル審査会委員報償費				25				
需用費		策定委員会お茶購入				6				
役務費		郵送料				49				
委託料		地域福祉計画策定委託業務				2,754				
関連事業										
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		2,652	3,943	958				
		補正予算等・・・②		63	△ 10	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		715	2,475	958				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	1,458	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		2,000	0	0				
		特定財源名称 (H29実績)	みらい戦略一括交付金			1,377	府補助金	24	頁	
職員人件費		従事職員数(正職/嘱託)	0.42/0	0.40/0	0.40/0	/				
		概算人件費・・・④	3,360	3,200	3,200					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,075	7,133	4,158					
執行状況	執行額・・・⑥			2,473	3,518					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			91.1%	89.4%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		第3次地域福祉計画策定		市民意識の把握	計画策定	進捗管理	4次に向けた評価			
				/	/	/				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		講演会(手話)の開催	回	1 / 1	4 / 4	-	1			
		単位あたりコスト			2,473.0	879.5				
ボランティアに参加したことがある人の割合		%		-	42.3/54.0	/54.0	54.0			
		単位あたりコスト		0.0	83.2					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	全6回の策定委員会を開催し、第3次計画を策定した。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	業者選定にあたってはプロポーザルで行っており、コストも評価点のひとつではあるが、内容を重視している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	昨年度実施のアンケート結果や近年の複合化多様化した地域課題を踏まえ、地域全体で取り組むべき内容や市が包括的に取り組むべき相談体制の構築などについても言及した計画となった。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	市民アンケートやヒアリング、また地域福祉計画策定委員会による市民の意見を反映した第3次計画を策定した。	
	今後の課題及び方向性	新たに策定した第3次地域福祉計画を広く市民に周知・啓発していく。 第3次地域福祉計画で取り組むべきとした地域住民や市の目標の進捗管理を定期的に行いながら、計画が実行性のあるものとする。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次地域福祉計画がもつ複数の成果指標を統合する指標を作成し、それをもって進捗管理を行うべき。 たとえば、全体の指標のうち、改善している指標はいくらあるか、といった統合指標を、本事業の成果指標にしてはどうか。それをもとに、進捗管理を行う委員会の方々に示し、委員会によって進捗管理ができればと思う。1年でモニタリングできる指標が望ましい。また、業者選定が1社だったということで、価格が高止まりしている可能性がある。今後は複数になるような工夫が必要である。 ・計画策定は完了したので、計画を実施していく策を案じ、効果的なしなげ作りが必要なのではないか。スピード感をもって。 ・計画策定事業であるが、指標の設定について再考が必要。 ・事業の成果がでるように、進捗管理ができるような仕組みを 		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		